

令和6年8月30日

渋谷区立松濤中学校 学校だより

世界へ松濤中生 Grow(自律) Respect(尊重) Create(創造)

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/shotoj>



オリンピックとSNSのマナー“誹謗中傷の問題”

校長 中村 哲也

夏休みが終わり、みなさんの表情を見ると、多くの人たちが、それぞれに充実した時間を過ごしてきて、久しぶりの登校を笑顔で迎えられたのかなと感じています。

でも、中には今日学校に登校するのが辛いと思っていた人がいるかもしれません。長い休み中に、トラブルにあってしまった人がいるかもしれません。そういう人は、できるだけ早く、周りの大人にSOSを伝えてください。先生方から声をかけてもらった時に、大丈夫じゃないときには、「大丈夫じゃないです」と言ってください。よろしく願います。



夏休みに入る前に、全校集会でオリンピックの話をしました。2024パリ・オリンピックでは、日本の選手がメダルを取った競技がたくさんありました。一方で、あと少しでメダルに届かずに負けてしまった種目もありました。私は男子バレーボールに注目していたのですが、あと1点から逆転でイタリアに負けてしまいました。とても残念でしたが、選手たちの全力プレーに、大変感動しました。

今回のオリンピックは、試合の勝敗よりも話題になったことがありました。何のことか分かりますか。選手や審判に対する誹謗中傷のことです。「あの選手のせいで負けた。」とか、「あの審判のせいで日本が負けた」など

の投稿を見たら、みなさんはどう思うでしょうか。SNSで誹謗中傷を投稿しても、結果が変わるわけではありません。得をする人は誰もいないのです。今回のパリ・オリンピックでは、毎日のように、何かしらの誹謗中傷に関するニュースが報道されました。他国の選手や審判に対する誹謗中傷は、国際問題にもつながりかねない、恥ずかしい行為です。そこで、日本オリンピック委員会は、SNSで投稿する際のマナーを守ることを求め、行き過ぎた内容に対しては、警察への通報や法的措置も検討すると呼びかけました。日本オリンピック委員会が、大会開催期間中に、このような声明を発表するのは異常な事態です。

皆さんの周りでは、どうでしょうか。多くの方がスマートフォンを使っていると思いますが、友達への誹謗中傷を見かけたり、自分自身が投稿してしまったりしたことはありませんか。自分が正しいと思っていることが、他の人から見ても正しいとは限りません。もしも、相手を非難したり、誹謗中傷に当たるような投稿を身近に見てしまったりしたら、みなさんには何ができますか。「いいね」と送ったり、逆に反論を投稿したりしますか？「〇〇さんがこんな投稿をしていたよ」と言って拡散しますか？それとも、「嫌ならSNSをやめればいい」と言って相手の自由を奪いますか？どれも適切ではありません。では、どうすればいいのでしょうか。

9月の主な予定

スマートフォンを使っている人であれば、自分には何ができるか、どうしたらよいか、自分でよく考えてみてください。

人の努力を傷つける人が、自分自身の努力を続けられる人になれるでしょうか？

みなさんには、努力を続けられる人になってもらいたいです。他者を平気で傷つける人にはならないでください。

最後に、この夏の高校野球の開会式で、選手宣誓をした智弁和歌山高校の選手の言葉を一部分紹介します。

『努力したとしても、報われるとは限らない。しかし努力しなければ、報われることはない』この言葉に励まされ、僕はここに立つことができました。そして、これからもこの言葉を胸に、最後まで戦い抜いていきます。』

- 3日（火）避難訓練
- 6日（金）職業講話(1)
- 7日（土）土曜授業公開・新入生説明会
- 10日（火）～12日（木）前期期末考査
- 12日（木）専門中央委員会
- 13日（金）復習確認テスト(3)・立会演説会
- 17日（火）教育実習開始
- 24日（火）壮行会・事前指導
- 25日（水）中学校陸上競技大会
- 30日（月）生徒会朝礼

部活動の表彰

<吹奏楽部>

- 第64回 東京都中学校吹奏楽コンクール
B組 金賞

<バドミントン部>

- 東京都中学校バドミントン選手権大会
男子団体戦 出場
個人戦
シングルス（男子）塚田 海生 出場

<陸上部>

- 第36回東京ジュニア陸上競技大会
女子100m 2位 2年 松井杏莉 13秒49
女子走高跳 5位 2年 福田梨紗 1m43